

特集

「水」

表紙のことば

「みずのいろ」

1968年、Love is blue. を『恋はみずいろ』と故意に誤訳(?)して、ポール・モーリアのその曲は日本で大ヒットした。写真を趣味にして長い歳月だけは流れたが、いまだに『水の色』は難しい。

(豊中市 森田 重治)



日時：2005年11月23日勤労感謝の日。午前11時52分。
場所：嵐山・渡月橋の上流580m左岸より桂川を見下ろして。
機材：CANON EOS 5D & EF LENS24-105mm & MAC G5。
条件：F9.0、1/500秒、露出バイアス0.67、ISO200、MPEG。
尚、今回よりLeicaサイズはDigitalに変更致しました。

◆ ピープル 「日本の常識は世界の非常識」 ——舞台を通じて異文化交流——

舞台俳優・プロデューサー マイケル・ジャクソン

◆ なにわ医見 「われら水田耕作農民」(拓)

●論考

医療的「水」学

東京医科歯科大学名誉教授 人間総合科学大学教授 藤田 紘一郎

水はとことんオモロイ! ——世界の名水に魅せられて——

ラジオパーソナリティ 馬場 章夫

水上からみる貧困と大阪

——戦前的大阪『水上生活者調査』から

四天王寺国際仏教大学院大学院博士後期課程 北村 香織

名水ブームの功罪

東京大学大学院新領域創成科学研究科助手 安形 康

水の音原風景

——次世代へ伝えるもの

ウォーターネットワーク代表 柴崎 勉

水道の行方

——水道職場からの警鐘

堺市水道労働組合執行委員長 植本 眞司

安全な飲み水は?

——水道水 vs 飲料水商品

近畿水問題合同研究会 中村 寿子

●会員投稿

水

東大阪市 竹谷 正

水の思い出

城東区 笹川 征雄

水・アラカルト

中央区 宇都宮健弘

泉

——東西ふたつの湧水の不思議

住吉区 守田 由雄

いのちの“泉”を求めて

岡山県美作市 高橋甲子夫

●インタビュー

日本のウイスキーのふるさと

——サントリー山崎蒸溜所

住吉区 守田 由雄、中央区 宇都宮健弘、本誌顧問 野村 拓

「聖地」を支える職人技

——阪神甲子園球場

住之江区 二宮 聖耳

●寄稿

健康増進政策と医療政策はいかに結合されるべきか 疾病の責任をめぐって

立命館大学産業社会学部人間福祉学助教授 松田 亮三

- ◆ なにわ友あれ 59
取っておきの星座観測
豊中市・水野産婦人科医院 水野 俊樹
- ◆ 各科情報——歯科 60
糖尿病と歯周病
(う蝕、歯周病の除菌療法:3DSとアジスロマイシン)
池田市 近藤 正
- ◆ 医界雑録 146 61
実費診療所と医師会の抗争 (下)
日本医史学会会員 青柳 精一
- ◆ 街角の美を訪ねて③ 62
都心でエキゾチシズムを楽しむ
——大阪市立近代美術館 (仮称) 心斎橋展示室
中央区 宇都宮健弘
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」② 64
新春対局
矢野先生が本田九段に挑戦
関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ なにわの伝説 146 (なにわの郷土史 292) 70
将軍塚と鎌足
地域史研究者 三善 貞司
- ◆ 岸野令子の「あまのじゃく映画時評」⑤ 72
私と韓国映画
——ユン・イノ監督との出会い
映画パブリシスト 岸野 令子
- ◆ エッセイ「風のひと 土のひと」② 88
フィリピンと日本
南相木村国保直営診療所 色平 哲郎
- ◆ ほんだな 75
『若年期認知症 本人の思いとは何か
——松本照道・恭子夫妻の場合』
中央区 宇都宮健弘
- ◆ 詰碁・詰将棋 15
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	43
12月のこんなこと	57
1/2月の予定	59
読者ファクス直送便	74
2月号予告	90
編集後記	90

今月の広告

ご協力ありがとうございました

(有)ワイエムサポート	43
JAL アカデミー大阪	58
文化部だより	表Ⅱ
(株)関西共同印刷所	表Ⅲ
(株)メディコムコミュニケーションズ	表Ⅳ

訪問介護における医療的看護的ニーズ調査

大阪府保険医協会地域医療対策部部长
倉澤 高志

469

大阪保険医雑誌
2006/ 2

特集

「それからのホームレス問題」
——見えてきた医療と生活の多様な課題

◆ ピープル 1
「現代美術と伝統文化からの視点」

造形作家 笹田 潤

◆ なにわ医見 2
「社会環境——変革への条件（赤影）」

●論考

野宿生活者問題を再び考える
——自律生活を営む力と手段が乏しい人々の究極の生活形態 ④
西成区・くろかわ診療所 黒川 渡

不健康都市大阪の処方せん
——釜ヶ崎の現場から ⑨
四天王寺国際仏教大学大学院人文社会学研究科教授 逢坂 隆子

ホームレス支援の新たな試み
——「10・30野宿生活者支援統一行動」の概要 ⑯
大阪府保険医協会事務局主任 渡辺 征二

「あおぞら健康相談」から見えてきたもの ⑳
寝屋川市・西田クリニック 西田 裕一

野宿生活者と口腔の健康 ㉔
歯科医師 名木田 宏

路上で法律家ができること ㉔
弁護士 木原万樹子

人権が尊重される社会を目指して
——今、司法書士に求められる野宿者支援 ㉙
ごじょう中央司法書士事務所・司法書士 西山 弓子

加入期間不足でも受給可能な公的年金制度の確立を ㉚
みやはら事務所・社会保険労務士 宮原 妙
オフィス後藤田・社会保険労務士 後藤田慶子

病院から生活の場を考える ㉚
国立病院機構大阪医療センター・医療ソーシャルワーカー 松岡 暖奈

保健行政の課題
——ホームレス者の健康支援から見えてきたもの ㉜
ヘルスサポート大阪 西森 琢

脱野宿への実践
——自立支援センター就労者支援 ㉜
NPO 法人地域自立推進協会元気百倍ネット事務局長 李 洋佑

東京の地域生活移行支援事業 ㉜
新宿ホームレス支援機構 安江 鈴子

●インタビュー

仕事と生きがいあつての健康 ㉜
——ヒューマンライツ福祉協会・梅田道子さんに聞く ㉜
中央区 宇都宮健弘

表紙のことば

「梅香る」

この公園の梅はよく手入れされていて間近に優しい匂を放ち多くの人々の気分を和ませてくれる場所でもあります。

(平野区 吉田一雄)



場所 伊丹市緑ヶ丘公園
時期 2005年3月2日
カメラ キヤノン EOS7S
レンズ キヤノン EF28mm f/1.35
フィルム プロ EP100
絞り f 11

469
大阪保険医雑誌
2006/ 2

◆ なにわ友あれ 芸は身をたすく？	54
中央区・ようこころのクリニック 加藤 洋子	
◆ こーひーブレイク 記録媒体の変遷	56
泉大津市 高橋 典章	
◆ 医界雑録 147 短命だった日本聯合医師会	57
日本医史学会会員 青柳 精一	
◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 4 インド I T の現実	58
共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏	
◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」② 油断大敵	60
関西棋院九段 滝口 政季	
◆ なにわの伝説 147（なにわの郷土史 293） 舍利吹観音	62
地域史研究者 三善 貞司	
◆ 富田和巳の「わたしの文化評」 氾濫するカタカナ題名に異論！ ——「内容が判る」「観たくなる」が一番	64
西区・こども心身研究所 富田 和巳	
◆ エッセイ「風のひと 土のひと」② 構造計算偽装問題と「昔なじみ症候群」	82
南相木村国保直営診療所 色平 哲郎	
◆ ほんだな 『尊厳』 ——半世紀を歩いた「花岡事件」	55
住之江区 二宮 聖耳	
◆ ほんだな 『兵役を拒否した日本人』 ——灯台社の戦時下抵抗	67
亀岡市・ムツミ病院 西本 雅彦	
◆ 詰碁・詰将棋	23
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段	

INFORMATION

2/3 月の予定	54
1 月のこんなこと	66
4 月号原稿募集	68
読者ファクス直送便	69
3 月号予告	84
編集後記	84

今月の広告

ご協力ありがとうございました	
(有) ワイエムサポート	44
アイネット・システムズ (株)	表Ⅱ
(株) 関西共同印刷所	表Ⅲ
(株) JSP	表Ⅳ

テキスト

快適な視環境づくりのための屈折検査
——屈折の基礎から眼鏡処方まで

70
東淀川区開業
楠 研二

470

大阪保険医雑誌
2006/ 3

◆ピープル 1
「現代美術とギャラリー巡りのすすめ」

美術ライター 小吹 隆文

◆なにわ医見 2
「サプリメントとの距離感 (遊)」

特集

「過熱するサプリメント市場」
——医療はどう向き合うか

●論考

健康食品ブーム ④
——情報に溺れる患者に対して何ができるか？
群馬県 おない内科クリニック 小内 亨

急拡大するサプリメント市場 ⑨
——その背景と問題点
医薬情報センターあさひ 寺岡 章雄

健康食品の有効性と安全性 ⑭
——アガリクスを事例として
東北大学公共政策大学院教授 坪野 吉孝

サプリメントと臨床医 ⑱
京都市 かどの診療所 角野 宏達

サプリメントと医薬品の飲みあわせ ㉒
神戸薬科大学教授 平井みどり

アブナイ健康食品の見分け方 ㉔
協立医師協同組合 情報室 藤竿伊知郎

健康食品・医薬品等に関する意識調査 ③①
——保険薬局の利用者を対象としたアンケート調査から
全日本民主医療機関連合会常駐理事・薬剤師 廣田 憲威

健康食品被害に関する法的諸問題 ③⑦
弁護士 菅 聡一郎

表紙のことは

「はねずおどり」

うす紅色のことは古くは「はねず」とい
い、山科小野、随心院門跡の紅梅は古くか
らこの名で親しまれて来た。はねず踊りは、
この随心院に伝わる小野小町の伝説を主題
としたものである。(泉佐野市 三好宏和)



場所 随心院
撮影日時 2005年3月27日
カメラ コンタックスRX
レンズ 85ミリ F1.4
フィルム フジRVP

470

大阪保険医雑誌
2006/3

◆ なにわ友あれ	41
音楽グループ「白と黒」	
岸和田市 山本 起義	
◆ 医界雑録 148	43
伝染病研究所の移管問題（上）	
日本医史学会会員 青柳 精一	
◆ 医療の国際協力 ④	44
ナイジェリア現地報告	
——栄養失調児の緊急治療プログラム	
国境なき医師団 看護師 道津美岐子	
◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」③	46
相手の注文をハズす	
関西棋院 九段 滝口 政季	
◆ なにわの伝説 148（なにわの郷土史 294）	48
蕪村の母	
地域史研究者 三善 貞司	
◆ 岸野令子の「あまのじゃく映画時評」③	50
差別とも闘ったスーパーヒーロー	
——「力道山」にみる日本と韓国・朝鮮の近代史	
映画パブリシスト 岸野 令子	
◆ 女の意外史③	52
ひもじすぎる日々よ	
福島区 菊井 知子	
◆ エッセイ「風のひと 土のひと」③	70
国保「停止」は憲法違反のおそれ	
佐久総合病院内科医師 南相木村国保直営診療所 色平 哲郎	
◆ ほんだな	42
『水俣病の真実』	
本誌編集部顧問 野村 拓	
◆ ほんだな	55
『スキンヘッド物語	
——カツラとともに歩んだ青春』	
福島区 菊井 知子	
◆ 詰碁・詰将棋	7
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段	

INFORMATION

3/4月の予定	41
読者ファクス直送便	67
2月のこんなこと	68
5月号原稿募集	69
4月号予告	72
編集後記	72

今月の広告

ご協力ありがとうございました	
JAL アカデミー大阪	40
大日本住友製薬（株）	56
文化部だより	表Ⅱ
（株）関西共同印刷所	表Ⅲ
（株）メディコムコミュニケーションズ	表Ⅳ

テキスト

知っておこう——PETの基礎から臨床まで

大阪大学大学院医学系研究科核医学講座教授
畑澤 順

57

特集

「学び方の処方箋」
——学力格差社会とどう向き合うか

- ◆ ピープル 1
「つくる楽しさ、食べる喜び」
ニュースキャスター 橋本 佐与子

- ◆ なにわ医見 2
「考えることを諦めた若者たち」
(赤影)

●論考

- 拡大する「学力格差」 ④
——日本の学力をめぐる現状
教育評論家・法政大学 教授 尾木 直樹

- 学力の格差をどう考えるか ⑨
——歴史的視点から
東京大学大学院教育学研究科 教授 広田 照幸

- 体の発達が脳と心の発達を支える ⑭
——日本の教育再建に向けて
大阪大学名誉教授・同大学大学教育実践センター招聘教授 生田 香明

- 生活環境と学力格差 ⑳
ルポライター 瀧井 宏臣

- 人はなぜ騙されるのか ㉑
——科学的思考の重要性
立命館大学国際関係学部 教授 安斎 育郎

- フィンランドの子どもたちの学びと成長 ㉒
都留文科大学比較文化学科 教授 福田 誠治

- 富裕層の教育事情 ㉓
甲南大学経済学部 専任講師 森 剛志

●会員投稿

- 我が家の教育方針 ㉔
泉大津市 高橋 典章

- 塾は万能か ㉕
——時には親子の濃密な触れ合いが必要
住吉区 守田 由雄

- 新米パパの教育論 ㉖
——我が子に何を学ばせるか
中央区 宇都宮 健弘

●寄稿

- 障害者自立支援法(精神通院)の意味するところ ㉗
都島区 古屋 顕児

表紙のことば

「満開の桜」

4月初めの晴天の午後、満開の桜を眺めながら大川沿いを歩いていた時アクアライナーが通り過ぎて行った。

(東淀川区 楠 研二)



撮影 平成 16 年 4 月 5 日
場所 大阪市都島区
カメラ EOS-1 レンズ 35 ~ 350mm
フィルム フジ RVP 絞り 8 オート

- ◆ なにわ友あれ 50
環境と貧富格差と戦争

- 豊中市 吉田 正和
◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 52
貧困という「慢性病」
——失政が続くネパール

- 共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏
◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」 24 54
攻めにはガマンが必要

- 関西棋院九段 滝口 政季
◆ わたしの文化評「ドキュメンタリーを観よう」 12 56
グローバリズムという現代の命題
——最近の公開作品から

- 和泉市 堀 忠
◆ なにわの伝説 149（なにわの郷土史 295） 58
強頸・衫子

- 地域史研究者 三善 貞司
◆ 医界雑録 149 60
伝染病研究所の移管問題（下）

- 日本医史学会会員 青柳 精一
◆ エッセイ「風のひと 土のひと」 24 72
世界で固定化する「格差」
佐久総合病院内科医師・南相木村国保直営診療所 色平 哲郎

- ◆ ほんだな 51
『天皇と東大——大日本帝国の生と死』（上・下）
豊中市 岡崎 邦夫

- ◆ 詰碁・詰将棋 7
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

初段（5段）をめざす囲碁クラブ	31
原稿募集	41,46,61
4/5月の予定	50
読者ファクス直送便	62
5号予告	74
編集後記	74

今月の広告

ご協力ありがとうございました	
（株）日本医療企画 関西支社	13
カール ツァイス メディテック（株）	63
アイネット・システムズ（株）	表Ⅱ
保険医年金	表Ⅲ
J S P	表Ⅳ

光線力学的療法とその有効性

——年老いて失明を避けるために

奈良県立医科大学眼科
松浦 豊明

特集

「緩和医療のいま」

◆ ピーブル

「バスチーユの住人になって」

1

画家・歌人 末安 美保子

◆ なにわ医見

「疼痛に苦しむすべてのがん患者に」

2

(Dr. サッサー)

● 論考

疼痛コントロールの実際と注意点
——モルヒネは危険な麻薬か？

④

山形大学医学部附属病院麻酔科講師 加藤 佳子

イギリス・スウェーデンにみた「ホスピス・緩和ケア病棟」

⑨

フリーライター 高橋ユリカ

切れ目のないがん医療

——住み慣れた自宅や地域で生活しながら最期を迎えるために

⑫

ベルランド総合病院緩和ケア部医長 大塚 正友

末期がんの在宅医療に取り組んで

⑮

和泉市・梅田クリニック 梅田信一郎

末期癌の方の在宅ケアに取り組んで

⑰

医療法人松尾クリニック 松尾美由起

終末期の行動変容

⑳

在宅ホスピスあおぞら所長 南 吉一

大阪府におけるがんの罹患、死亡の特徴
——大都市圏（東京都、神奈川県、愛知県）と比較して

㉒

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立成人病センター調査部 井岡亜希子

終末期の在宅療養とは何か？

㉔

佐久総合病院内科医師・南相木村国保直営診療所所長 色平 哲郎

麻薬及び向精神薬の取扱いについて

㉖

大阪府健康福祉部麻薬毒劇物グループ

● 大阪の文化シリーズ第5弾「大阪の食と農業」⑨

里山で春の味覚を堪能

——田舎風季節料理「一夢想」を訪ねて

㉙

大阪の食文化研究会事務局長 藤元 百代
豊中市 小林 隆一
住吉区 守田 由雄

表紙のことば

「ホリデー」

茶畑と富士の取り合せのよいポイントを求めて移動中、道に迷い込み、途方にくれたいた矢先に出会った光景。

(旭区 加藤 南明)

日時 2004.5.23
場所 静岡県裾野市
機種 キヤノン EOS KISS
レンズ タムロン 28～200 ミリ
フィルム フジ プロビア 100F

- ◆ なにわ友あれ 41
Middle Aged の英会話
平野区・なかのクリニック 中野 明弘
- ◆ 医界雑録 150 49
医者 of 玄関
日本医史学会会員 青柳 精一
- ◆ 医療の国際協力⑤ 52
コンゴ民主共和国
——暴力と病気に脅かされる人々
国境なき医師団 助産師 田村 美里
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」②⑤ 54
戦うべき場所を見極める
関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ なにわの伝説 150 (なにわの郷土史 296) 56
平太と源八
地域史研究者 三善 貞司
- ◆ 岸野令子の「あまのじゃく映画時評」③⑦ 58
激動の時代とともに歩んだ 30 年
——節目を迎えた香港国際映画祭
映画パブリシスト 岸野 令子
- ◆ 女の意外史③ 60
家庭介護ギブアップ症候群
——F 夫さんの場合
福島区 菊井 知子
- ◆ エッセイ「風のひと 土のひと」②⑤ 78
「長野モデル」の現在
佐久総合病院内科医師・南相木村国保直営診療所 色平 哲郎
- ◆ ほんだな 39
『医療はよみがえるか——ホスピス緩和ケア病棟から』
和泉市 梅田信一郎
- ◆ ほんだな 50
『医療的ケア——あゆみといま、そして未来へ』
住吉区 守田 由雄
- ◆ ほんだな 51,65
『めまい——脳内地震のミステリー』
東住吉区 島田 瑞夫
福島区 菊井 知子
- ◆ 詰碁・詰将棋 19
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	40
5/6 月の予定	41
4 月のこんなこと	75
読者ファクス直送便	76
イラク救援・医療人ネット OSAKA	77
6 月号予告	80
編集後記	80

今月の広告

ご協力ありがとうございました

JAL アカデミー大阪	48
エーザイ株式会社	66
文化部だより	表Ⅱ
保険医年金	表Ⅲ
(株)メディコムコミュニケーションズ	表Ⅳ

特集

「医療から『子づくり不全』社会を問う」

- ◆ ピーブル
「ナニワのアナウンサーだから
できること」

1

フリーアナウンサー 寺谷 一紀

- ◆ なにわ医見
「女性主導の時代」(景)

2

●論考

- 考えたい産科・小児科の医師不足
——私の40年の経験を踏まえて (4)

元阪南中央病院院長 佐道 正彦

- 彼女たちはなぜ子供を生まないのか
——診療から見えてきた女性たちの今 (7)

豊中市・吉村レディースクリニック 吉村 猛

- 小児科開業医の今 (10)

河内長野市・泉谷こどもクリニック 泉谷 徳男

- これでいいのか母子保健
——子育てに保健センター・保健所がはたす役割 (15)

大阪府職労保健所支部 吉田 澄世

- 小児科勤務医の労働環境 (18)

協仁会小松病院副院長 小児科 原田 佳明

- 地域住民とともに“命を守る”システムの構築を
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学助教授 新宅 治夫 (24)

- 日本「場当り」政策史
——「産め」といったり「産むな」といったり (28)

本誌編集部顧問 野村 拓

- 4月改定で小児科・産婦人科の診療報酬は
本当に「手厚く」なったのか (32)

大阪府保険医協会事務局参与 上田 浩治

- 少子化と労働事情 (36)

ノンフィクションライター 島本 慈子

- 誰もが安心して子育てできるまちをめざして (39)

吹田市職員労働組合保育所支部 郷原 仁美

- 障害児保育行政の現状と課題 (42)

四天王寺国際仏教大学大学院人文社会学研究科博士後期課程 藤井 渉

- 乳幼児のいる共働き家庭の住要求 (46)

大阪市立大学生生活科学研究科助教授 小伊藤亜希子

●女性医師の子育て奮闘記

- ダブルスクール構造の弊害 (50)

東大阪市 若草 まや

- 家族を結ぶ美味しいご飯 (52)

寝屋川市 中村真紀子

- 大きかった保育所の存在 (54)

豊中市 野崎 京子

- 働く女性の子育て (57)

守口市 森口 久子

- 仕事に生きる育児経験 (60)

関西医科大学 小児科 鈴木 貴美

- 育児支援が最大の少子対策 (62)

大阪市立大学医学部附属病院 齊藤 三佳

表紙のことば

「ポルトガルの小さな村」

ポルトガルを旅したとき、オビドスという城壁に囲まれた小さな村に立ち寄りました。この村には大勢の観光客が訪れていましたが、白壁と石畳が続く小道を歩くと、時間が止まったような中世の趣のある雰囲気を感じることが出来ました。(堺市 近藤 宏和)



カメラ FUJIFILM FinePix 40i

撮影 2002年8月

場所 オビドス (ポルトガル)

- ◆ なにわ友あれ 67
楊名時太極拳をはじめて
守口市・大阪ゆうゆうの里診療所 鶴田 一郎
- ◆ 医界雑録 151 69
大日本医師会の誕生(1)
日本医史学会会員 青柳 精一
- ◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 6 70
汚染が進むガンジス
——信仰と発展のはざままで
共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」㉔ 72
打たれた反対側を打つ
関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ なにわの伝説 151 (なにわの郷土史 297) 74
難波の見世物
地域史研究者 三善 貞司
- ◆ 富田和巳の「わたしの文化評」 76
かくも長き不在 私も感動した芸術映画
の傑作! ——反戦映画の金字塔
西区・こども心身研究所 富田 和巳
- ◆ エッセイ「風のひと 土のひと」㉔ 88
「人間の安全保障」と伊波基金
佐久総合病院内科医師・南相木村国保直営診療所 色平 哲郎
- ◆ ほんだな 68
『新・主人在宅ストレス症候群』
泉大津市 紀野 正
- ◆ 詰碁・詰将棋 17
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	23,86
囲碁クラブ	31
6/7月の予定	67
読者ファクス直送便	86
5月のこんなこと	87
7月号予告	90
編集後記	90

今月の広告

ご協力ありがとうございました

アボット ジャパン株式会社	78
アイネット・システムズ株式会社	表Ⅱ
保険医年金	表Ⅲ
株式会社 J S P	表Ⅳ

日常診療で見られる小児のけいれんと発作性頭痛

大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 教授
山野 恒一

特集

私の処方ポリシー

◆ピープル

1

「音楽で伝える9条の理念」

音楽・九条の会世話人／ヴァイオリン奏者 三原 啓史

◆なにわ医見

2

「状況に応じた薬剤処方」(赤影)

いま、患者から共感を得る処方を探る

④

大阪府保険医協会理事長代行 高本 英司

●会員投稿

処方インフォームドコンセントに近い

⑩

福島区・野田診療所所長 小濱 譲次

たかが処方されど処方

⑪

中央区・羽田内科 羽田 回

処方の醍醐味

⑭

大阪市立大学総合診療センター 谷口 恭

私の「外科的処方」

⑯

泉北郡志岡町・安藤外科整形外科医院 安藤 元博

クリニックは人間万華鏡

⑱

中央区・宇都宮外科胃腸科医院 宇都宮健弘

「薬価の国際比較」が決定づけた私の処方ポリシー

⑲

平野区・細川医院 細川 一真

ジェネリック品の使用状況と使用の意義
——高い薬がよい薬か

⑳

大阪医療事業協同組合(OMEC)専務理事 中村 玉枝

先発品、後発品論争を止揚するための開業医の一試み(速報)
——一般名プラバスタチンNaの先発・後発品評価の試み

㉑

城東区・(医)共立会たかもと診療所 高本 英司

●対談

保険薬局と医療機関との連携

㉒

南薬剤師会センター薬局局長 高橋 直子

中央区・宇都宮外科胃腸科 宇都宮健弘

●資料

大幅な規制緩和の中での薬価制度見直し、医薬品
承認・許可制度に関する主な論点と当面の対応

㉓

全国保険医団体連合会理事会

表紙のことば

「たわむれ」

10年位前に撮影したもので、仲良く遊ぶ親子を見つけ突堤から眺めていると突然わが子を高く放り上げた、なんとも微笑ましい一瞬でした。

最近プライバシー云々のため夏の海辺の写真が撮りにくくなったのは残念です。

(東淀川区 楠 研二)



場所 明石市 大蔵海岸
カメラ EOS100
レンズ TAMRON 28~200mm
フィルム RDP II
絞り 8 シャッター AE

- ◆ なにわ友あれ 46
私と鉄道模型

住吉区 守田 由雄

- ◆ 医界雑録 152 49
大日本医師会の誕生(2)

日本医史学会会員 青柳 精一

- ◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 7 50
内戦再燃におびえる住民
——「インド洋の真珠」スリランカ

共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏

- ◆ 医療の国際協力⑥ 52
シエラレオネ共和国(アフリカ)
——紛争後も医療に手が届かない人びと

国境なき医師団・看護師 京寛美智子

- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」⑦ 54
石と地とどちらが大事か

関西棋院九段 滝口 政季

- ◆ なにわの伝説 152 (なにわの郷土史 298) 56
大阪城の蛙石

地域史研究者 三善 貞司

- ◆ 岸野令子の「あまのじゃく映画時評」③ 58
生まれたからには隠れることができない

映画バブリシスト 岸野 令子

- ◆ エッセイ「風のひと 土のひと」⑦ 68
「恐怖」を煽るコワサ

佐久総合病院内科医師・南相木村国保直営診療所 色平 哲郎

- ◆ ほんだな 47
『<心の病>をくぐりぬけて』

中央区 宇都宮健弘

- ◆ 詰碁・詰将棋 27
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	9
7/8月の予定	46
トークツートーク	48
読者ファクス直送便	60
8・9月合併号予告	70
編集後記	70
文化部日より	表Ⅱ

今月の広告

ご協力ありがとうございました

(株) 関西共同印刷所	表Ⅲ
(株) メディコムコミュニケーションズ	表Ⅳ

男性更年期障害と ED

大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学(泌尿器科)

辻村 晃

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

石蔵 文信

特集

医療・社会保障における日米関係

- ◆ ピーブル 1
「生教育・生共育」の大切さ

社会福祉法人 神戸婦人同協会 子供の家(児童養護施設) 原田 旬哉

- ◆ なにわ医見 2
「医療保障オンチの克服」(拓)

- アメリカに売り渡される日本の医療保険 ④
福井県立大学経済・経営学科教授、京都大学名誉教授 本山 美彦

- 公的医療保険の必要性
——アメリカ民間医療保険と対比して ⑦
四天王寺国際仏教大学大学院 鎌谷 勇宏

- 医療関連産業にみる日米関係の現状 ⑫
京都橘大学文化政策学部助教授 高山 一夫

- 「米国の日本乗っ取りの医薬品戦略」が見える必読の3冊 ⑮
NPO法人医薬ビジランスセンター(薬のチェック) 事務局長 坂口 啓子

- 米国医療は本当にエビデンス・ベースなのか ⑲
亀田総合病院総合診療・感染症科部長 岩田健太郎

- アメリカの医療制度をお手本にして良いのか ⑳
元大阪大学医学部教授 福田 淳

- 『修業から歴史認識へ』
——アメリカ救急医学から学んだこと ㉑
十字の園診療所 後藤 幸一

- ドイツ圏からアメリカ圏へ ㉔
——文化・医療・保険
本誌編集部顧問 野村 拓

- 占領期の医療・公衆衛生 ㉗
花園大学非常勤講師 北村 香織

- 大阪大学で開かれた「南日本公衆衛生会議(1950年)」
——占領下の公衆衛生 ㉚
京都YMCA国際福祉専門学校 湯川 順子

●会員投稿 回想のアメリカ留学

- 私のアメリカ ㉜
泉大津市 高橋 典章

表紙のことば

「グアムの休日」

透き通る様な青い海。海中に入ると魚が寄って来て脛をつつく。餌を手の掌にのせると数匹よって来てついばむ。

のんびりとした夏の休日の一時でした。
(泉佐野市 新山昭次)



場所 グアム島
カメラ Pentax ista
レンズ ZOOM 28 ~ 105mm/m
(AF オート)

- ◆ なにわ友あれ 50
茶道・・・一期一会の永遠性
東住吉区 藤崎 秀孝
- ◆ 医界雑録 153 51
大日本医師会の誕生 (3)
日本医史学会会員 青柳 精一
- ◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 52
理解不能の無差別殺人
——ムンバイ列車同時爆弾テロ
共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」 28 54
最後まで響いた序盤のウソ手
関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ なにわの伝説 153 (なにわの郷土史 299) 56
大阪城の怪異
地域史研究者 三善 貞司
- ◆ わたしの文化評「ドキュメンタリーを観よう」 13 58
「戦争の記憶」を問いかける
——国家の狂気描く力作
和泉市 堀 忠
- ◆ 街角の美を訪ねて 4 60
海と街と芸術の立体交叉点
——サントリーミュージアム [天保山]
住吉区 守田 由雄
- ◆ エッセイ「風のひと 土のひと」最終回 76
何処へ
佐久総合病院内科医師・南相木村国保直営診療所 色平 哲郎
- ◆ ほんだな 49
『今そこにあるタイのエイズ 日本のエイズ』
住吉区 守田 由雄
- ◆ ほんだな 64
『スイスの誕生日 海外ツアーミステリー』
泉大津市 紀野 正
- ◆ ほんだな 65
『全国患者会障害者団体要覧』(第3版)
本誌編集部顧問 野村 拓
- ◆ 詰碁・詰将棋 17
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	11,41,48
9月の予定	50
読者ファクス直送便	63
10月号予告	78
編集後記	78

今月の広告

ご協力ありがとうございました

バイエル薬品(株)	66
アイネット・システムズ(株)	表Ⅱ
(株)関西共同印刷所	表Ⅲ
JSP	表Ⅳ

最新の心不全の病態と治療

東住吉森本病院 副院長
瓦林 孝彦

特集

棄民・棄老政策と医療

表紙のことば

「晩秋の耀き」

嵯峨野の愛宕念仏寺から嵐山への途中、
素晴らしい紅葉に思わずシャッターを切り
ました。

(平野区 吉田一雄)



場所 京都嵯峨野
日時 2005年11月21日
カメラ キヤノンEOS 7s
レンズ キヤノン 70mm ~ 200mm
フィルム フジRVP
絞り f 11 オート

◆ピープル 1 イラク戦争は終わっていない

フリージャーナリスト、イラクの子どもを救う会代表 西谷 文和

◆なにわ医見 2 高所で戸惑う人たち(篤)

乱暴すぎる方針転換に広がる怒り ——府下療養病床施設調査結果 ④

大阪府保険医協会事務局次長 尾内 康彦

●厚労省はこの声を聴け！

これでいいのか日本の高齢社会 ⑬

西淀川区・医療法人恒心会安田病院事務長 吉村 敏郎

漂流し始めた「療養病床丸」の操舵室から ⑭

堺市・医療法人田中会田中病院事務長代理 森田 康雄

医療・福祉は国家の責任ではないのか ⑮

高槻市・医療法人康愛会富田町病院事務長 林田 吉智

温かく安心できる余生を ——それは政治の責任である ⑰

福島区・医療法人燦恵会首藤病院事務長 首藤 千恵

カバーできない減収 ⑲

泉佐野市・羽倉崎駅前外科内科事務長 加藤 廣行

●論考

受け皿なき改革 ——診療報酬・医療制度改革の余波を取材して ⑲

朝日新聞大阪本社生活文化部 重政 紀元

激変する療養病床の運営と中小病院の決断 ⑳

全国保険医団体連合会病院・有床診療部長 斎藤 隆義

「社会的入院」って何？ ——要介護者が安心して療養できる環境は何処に ㉑

特定医療法人同仁会 耳原鳳病院ソーシャルワーカー 庄司 美沙

転院先が見つからない ——府下高齢者施設アンケートから ㉓

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療ソーシャルワーカー 北出 直子

「在宅で」といけれど ——行き場のない患者家族の立場から ㉔

東京保険医協会事務局 都築 史

●座談会

開業医は何ができるのか ——ふんばりどころの全体像と連携 ㉕

西淀川区 井上 賢二
港区 塩見 啓博
西成区 田端 明弘
平野区 中野 裕一
寝屋川市 西田 眞
司会 / 平野区 細川

- ◆ なにわ友あれ 60
冬は野沢でスキー三昧
枚方市 山中 元滋
- ◆ 医界雑録 154 61
憲政擁護運動と政党の離合集散(上)
日本医史学会会員 青柳 精一
- ◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 64
再びトリンコマリー
——スリランカ、武力で解決狙う愚行
共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏
- ◆ 医療の国際協力 7 66
ジャワ島中部地震緊急援助(インドネシア)
国境なき医師団・看護師 大野 充
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」 29 68
力戦派同士の一局
関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ なにわの伝説 154 (なにわの郷土史 300) 70
ミヤとミドロ
地域史研究者 三善 貞司
- ◆ 岸野令子の「あまのじゃく映画時評」 39 72
身体とところを取り戻す女性のたたかい
——アフリカ映画の父・センベヌ監督「母たちの村」
映画バブリリスト 岸野 令子
- ◆ 文芸新連載「鎮魂の医学史——戦没海軍軍医の医学研鑽」 1 93
思い出・出会い・哀悼
本誌編集部顧問 野村 拓
- ◆ ほんだな 63
『サプリメントとの賢いつきあい方』
中央区 宇都宮健弘
- ◆ 詰碁・詰将棋 29
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	42
10/11月の予定	60
9月のこんなこと	62
読者ファクス直送便	85
11月号予告	94
編集後記	94

今月の広告

ご協力ありがとうございました

(株)日本点眼薬研究所	74
サノフィ・アベンティス(株)	86
日本通運(株)大阪旅行支店営業センター	表Ⅱ
保険医年金	表Ⅲ
(株)メディコムコミュニケーションズ	表Ⅳ

間歇性外斜視の視能訓練

近畿大学医学部眼科学教室 講師

阿部 考助

手遅れになると危険な皮膚病

近畿大学医学部皮膚科 教授

川田 暁

特集

“まさか”の備え
——医院における危機管理

- ◇ ピープル 1
「愛する」ことよりも「大切にすること」を求めたい
フランスシスコ会・神父 本田 哲郎

- ◇ なにわ医見 2
常に危機管理を自覚すべし (美湖)

- つけ込まれる医療機関
——迫られる危機管理体制の確立 ④
徳島県警察本部交通指導課次長兼交通捜査指導官 檜山 憲法

- プロが教えるクレーム対策 ⑨
(株)援護システム代表取締役 援川 聡

- 増える病医院トラブル
——協会への相談事例から見えるもの ⑭
大阪府保険医協会事務局次長 尾内 康彦

- 医院でのトラブル
——その解決と予防 最近の事例を中心に ⑳
若松陽子法律事務所・弁護士 若松 陽子

- 医師・患者コミュニケーションと医事紛争 ㉓
九州大学大学院医学研究院医療経営管理学分野教授 萩原 明人

- 狙われる医院
——高めたい防犯意識 ㉘
東洋テック(株)大阪営業部営業一部営業1課推進役 江口 博之

●資料

- 警備保障会社 業務内容比較表 ㉜
編集部

●寄稿

- 増大する生活不安とその対抗軸 ㉟
佛教大学社会学部公共社会学科教授 金澤 誠一

表紙のことば

「獅子舞」

赤穂のはずれの町へ秋祭りの撮影に行った。
獅子舞はなかなか見事なものでかなり練習
したのだと思う。その動きの軽妙さに皆見
とれていた。(堺市 近藤 宏和)



場所 兵庫県赤穂市
日時 2005 年秋
カメラ キヤノン EOS KISS
レンズ EF28-80mm
絞り F2.8-4

- ◆ なにわ友あれ 54
ブレス雑感
忠岡町 安藤 元博
- ◆ 医界雑録 155 55
憲政擁護運動と政党の離合集散(下)
日本医史学会会員 青柳 精一
- ◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 56
複雑な立体作る「格差の国」
ムンバイ——無情の社会に生きる子どもたち
共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」 58
一石三鳥
関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ なにわの伝説 155 (なにわの郷土史 301) 60
遊月信女
地域史研究者 三善 貞司
- ◆ 新連載「週末に楽しむモダンアート」 ① 62
美術館の常設展に出かける
美術ライター 小吹 隆文
- ◆ 街角の美を訪ねて 64
“先見の政治家” 後藤新平を訪ねて
——岩手・後藤新平記念館
京都府亀岡市・ムツミ病院 西本 雅彦
- ◆ 女の意外史 68
在宅介護ギブアップ症候群
——E子さんの場合
福島区・オーガスタクリニック 菊井 知子
- ◆ 文芸「鎮魂の医学史——戦没海軍軍医の医学研鑽」 91
昭和13年・東大臨床講義
静岡県十字の園診療所 後藤 幸一
- ◆ 詰碁・詰将棋 13
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	37、43
11/12月の予定	54
10月のこんなこと	46
読者ファクス直送便	74
12月号予告	92
編集後記	92

今月の広告

ご協力ありがとうございました

(株)ツムラ	75
アイネット・システムズ(株)	表Ⅱ
(株)関西共同印刷所	表Ⅲ
(株)JSP	表Ⅳ

特集

食の安全と公衆衛生

- ◆ ピーブル 1
心を打つスピーチ

フリーランスアナウンサー 小倉 里美

- ◆ なにわ医見 2
マクドナルド化社会の悪夢(景)

- BSE対策を考える ④
——現状と新たな問題

東京大学名誉教授 山内 一也

- 部分という名の幻想、あるいは流れの生命観について ⑨
青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授 福岡 伸一

- 米国のBSE飼料規制とレンダリング産業 ⑭
農業情報研究所 北林 寿信

- 旬に高い栄養価 ⑮
——野菜の栄養 2006

女子栄養大学教授 辻村 卓

- 食の安全と医療・公衆衛生の諸課題 ⑳
BSE市民ネットワーク事務局 寺岡 敦子

- 考えよう「食」、見直そう「我が家のおかず」 ㉑
大阪の食文化研究会事務局長 藤元 百代

- 関西オーガニックレストラン最新情報 ㉔
フードライター&エディター 松田 恵

●大阪の文化シリーズ第5弾「大阪の食と農業」⑩

- 素材と工夫が生きる店 ㉓
——松原市・こだわり串かつ「四季一善」

大阪の食文化研究会事務局長 藤元 百代
本誌編集部 顧問 野村 拓
本誌編集部・住吉区 守田 由雄

表紙のことば

「クリスマスの街」

クリスマスの夜、御堂筋の銀杏並木は、
イルミネーションされ華麗でした。
(泉佐野市 三好 宏和)



場所 御堂筋
日時 2002年12月25日
カメラ EOS-5
レンズ 28~105mm
フィルム フジカラー ISO 800

- ◆ なにわ友あれ 42
シチリアのマンジャーレ
西区 京谷 京子
- ◆ 医界雑録 156 43
大日本医師会の政治活動(上)
日本医史学会会員 青柳 精一
- ◆ 他科に役立つ各科情報——眼科 44
白内障について
東大阪市 中島 隆介
- ◆ ほんだな 45
『脱牛肉文明への挑戦
——繁栄と健康の神話を撃つ』
豊中市 岡崎 邦夫
- ◆ モンスーン 混沌の中に見た景色 46
遠かった「国境」
——係争地を分断するフェンス
共同通信社ニューデリー支局長 田辺 宏
- ◆ 医療の国際協力⑧ 48
ダルフル難民への援助(チャド／スーダン)
国境なき医師団 医師 白井 律郎
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」③ 50
白天元の局
関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ なにわの伝説 156 (なにわの郷土史 302) 52
こんな顔かいな
地域史研究者 三善 貞司
- ◆ 岸野令子の「あまのじゃく映画時評」④ 54
権力に物言える社会の到来
——「王の男」が大ヒットした韓国
映画パブリシスト 岸野 令子
- ◆ 街角の美を訪ねて⑥ 56
「男子の本懐」を全うした“ライオン宰相”
——高知・濱口雄幸生家記念館
京都府亀岡市・ムツミ病院 西本 雅彦
- ◆ 文芸「鎮魂の医学史——戦没海軍軍医の医学研鑽」③ 73
血清学講義 (講本)
静岡県十字の園診療所 後藤 幸一
- ◆ 詰碁・詰将棋 13
関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段

INFORMATION

原稿募集	30、33
11月のこんなこと	41
12/1月の予定	42
読者ファクス直送便	75
06年『大阪保険医雑誌』総索引	76
07年1月号予告	82
編集後記	82

今月の広告

ご協力ありがとうございました

(株)ファルコバイオシステムズ	74
文化部だより	表Ⅱ
(株)関西共同印刷所	表Ⅲ
(株)メディコムコミュニケーションズ	表Ⅳ